

緑白



貝塚市立二色小学校 校長室だより第67号

H25年1月9日発行

貝塚市二色1-3-1

Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

☆新年明けましておめでとうございます。2013年が皆様にとって健康でよい年となりますように。

☆本年も教職員共々、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



坂道をみんなで



私の新年の書き初めは、『坂道』でした。「坂道を転げ落ちるように」という使い方もありますが、イメージとしては、「上り坂」でしょうか。箱根駅伝に感動したせいも少しはあるのですが、去年の書き初めが『一步』だったので、今年は少し進めたい・・・という思いで書きました。全国的には「震災復興」も数々の坂道を辿って(たどって)います。仮設住宅で、「復興はまだまだサネ・・・」と温かく、人間味あふれた東北弁で語る方々の表情に、「自分もこの人達と同じ日本という国に生まれてよかった！負けてはいられない！」と感ずるのは私だけではないと思います。

3学期は、まさに『坂道』です。少し先に新学年が見え、6年生は中学校が見えています。『坂道』の勾配は、その子その子にとって感じ方が違うでしょう。・・・ゆるやかなスロープのような子もいれば、目の前が高い壁のように感じる子もあるかもしれません。学校の教師にとっては、その『坂道』を、いつの間にか知らないうちにに登り切らせるのが仕事です。前もって緊張感を取ったり、楽しみにさせたり、また背中をぽんと押すタイミングもあります。時には子どもと共に『坂道』を自分も登ることも必要かもしれません。教師としての力を磨いていかなければならないということも、教師の『坂道』です。<頑張らなくては！>

子ども達にとっても、習い事・手伝い・毎日の宿題・なわとび・跳び箱・九九・漢字50問・掃除・当番・持久走・・・などなど沢山小さな『坂道』があるかと思います。“めんどくさいなあ・・・いやだなあ・・・ねむたいなあ・・・やってもやらなくても一緒じゃないか？”など弱音を吐きたいときは吐いて、また坂道を登って行きましょう。

行く手には、「今まで知らない世界」があるかもしれません。見る空の色も違って見えることでしょう。

更に、『坂道』を一旦登ってしまつと、苦勞していた坂道が何でもなく感ずるということは体験された方も多いことでしょう。私自身も、自分の今年の『坂道』を登って行こうと思います。

二色小学校、子ども達も教職員もみんなで登ります。今年もどうぞよろしくご支援ください。



年末に主任児童委員さん・民生委員さんのおかげで、校門の「笑顔で あいさつ できる町 二色パークタウン」の布看板が新しくなりました。新年早々気持ちよいです。みなさんも見てみてください。ありがとうございました。

★3学期は、二色の浜の名前の由来である砂の白・松林の緑・・・の「緑白」です。よろしくお願ひします。★